

2026年3月 日光市

国内観光客分析 マーケティングレポート

日光市観光協会 経営企画室
2026年5月作成

注意事項

本レポートでは、一部の箇所で「市観光入込数（実績値）」との比較を行っていますが、人流データと市観光入込数は、算出根拠やデータ性質が根本的に異なるため数値が一致することはありません。以下の特性および定義の違いにご留意ください。

1. データ特性の相違

・母集団の特性（サンプルの偏り）

人流データは特定のアプリ利用やスマートフォンキャリアの契約者に紐づくため、年代や利用スタイルによる偏りが生じます。一方、市観光入込数は全来訪者数や施設利用の実数を対象としています。

・計測定義の相違

人流データはGPSによる「位置情報」をベースにした動態観測ですが、市観光入込数は宿泊施設や観光施設への「入込数」をカウントしたものです。

・推計値と確定値の違い

人流データは、抽出されたサンプルから全体を予測する「拡大推計」を行っているため、計算ロジックによる誤差が含まれます対して、市観光入込数は原則として各施設の数値積み上げ方式の「確定値」です。

2. 人流データにおける来訪属性の定義

本レポートの人流データでは、以下の定義に基づいて来訪属性を判定しています。

- ・ **旅行者**：自宅から一定以上離れた場所で、同一観光スポットにて同日連続2回以上の位置情報が検知された場合。
- ・ **日帰り客**：夜間（翌日1:00～4:59）に位置情報が最も多く検知されたエリアが、居住地と一致する場合。
- ・ **宿泊客**：夜間（翌日1:00～4:59）に位置情報が最も多く検知されたエリアが居住地と異なる場合。その探知エリアを「宿泊市区町村」と定義

1

日光市全体

主要指標サマリー

入込数
656,753
前年比 102.9%

日帰り客
420,521
前年比 103.2%

宿泊客
236,232
前年比 102.3%

平日・休日／曜日別来訪者数

曜日タイプ	来訪者数	1日あたり来訪者数	前年同期比
平日	357,749	17,035.7	1.4%
土曜日	127,982	31,995.5	13.8%
日祝日	170,997	28,499.5	5.8%
合計	656,728	21,184.8	2.9%

前後周遊スポット

周遊パターン	周遊者数	前年同期比
日光東照宮 ⇄ 二社一寺近辺 (宿泊)	123,245	27.1%
日光山輪王寺 ⇄ 二社一寺近辺 (宿泊)	52,190	4.5%
日光山輪王寺 ⇄ 日光東照宮	43,860	6.3%
東武ワールドスクウェア ⇄ 鬼怒川温泉エリア	29,363	5.1%
鬼怒川温泉エリア ⇄ 二社一寺近辺 (宿泊)	27,495	1.9%

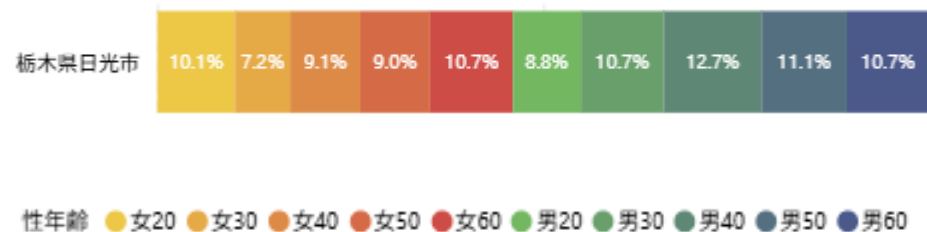
1

日光市全体

発地ランキング

発地（都道府県）	来訪者数	構成比	前年同期比
東京都	113,073	17.22%	12.7%
埼玉県	105,911	16.13%	4.8%
栃木県	97,196	14.80%	-5.7%
神奈川県	72,588	11.05%	6.9%
千葉県	65,478	9.97%	4.3%
茨城県	34,955	5.32%	1.4%

属性別構成



分析レポート

・全体概況

入込数は前年比102.9%と堅調。日帰り客（前年比103.2%）が宿泊客（前年比102.3%）より上回り、週末の日帰り旅行を選ぶ層が増えた。

・平日・休日／曜日別来訪者数及び発地ランキング

土曜日の来訪者が前年比113.8%と突出。発地別シェアでは東京都を筆頭に、埼玉、神奈川、千葉の（1都3県で約64%）を占める。首都圏からの週末マイクロツーリズムの影響に寄与している。

・周遊パターン

「二社一寺周辺」だけで上位5パターンのうち約38%と圧倒的で最多。

・ターゲット層

属性別構成では、男女比がほぼ半数ずつ（男性54%、女性46%）とバランスが良い中で、男性はミドル層、女性は若年層にピークが見られる。

2

日光エリア（日光東照宮・日光山輪王寺・日光二荒山神社）

主要指標サマリー

入込数
359,163
前年比 104.1%

日帰り客
254,444
前年比 102.4%

宿泊客
104,719
前年比 108.5%

平日・休日／曜日別来訪者数

曜日タイプ	来訪者数	1日あたり来訪者数
平日	184,856	8,802.7
土曜日	81,229	20,307.3
日祝日	93,077	15,512.8
合計	359,162	11,585.9

前後周遊スポット

周遊先スポット	直前の周遊	直後の周遊	合計
鬼怒川温泉エリア	23,356	23,824	47,180
華嚴滝親瀑台	7,307	12,165	19,472
道の駅日光日光街道ニコニコ本陣	2,307	10,321	12,628
奥日光湯元温泉エリア	4,074	3,064	7,138
宇都宮駅	2,689	2,907	5,596

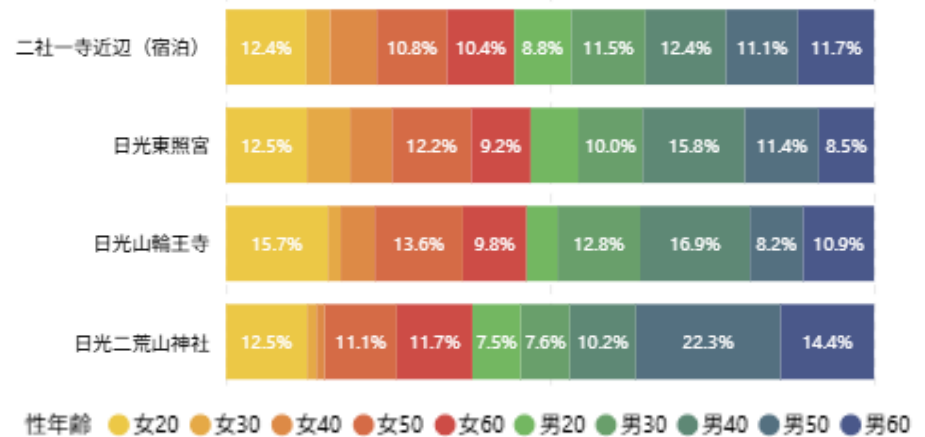
2

日光エリア（日光東照宮・日光山輪王寺・日光二荒山神社）

発地ランキング

発地	来訪者数	シェア
東京都	170,343	18.74%
埼玉県	155,069	17.06%
神奈川県	121,984	13.42%
千葉県	98,952	10.89%
茨城県	52,978	5.83%

属性別構成



分析レポート

- ・ **全体概況**：日帰り客（前年比102.4%）宿泊数（108.5%）ともに増加傾向にある。特に入込数全体の伸びを上回るペースで宿泊数が伸長し、滞在型観光へのシフトが進んでいることが伺える。
- ・ **首都圏依存と隣接県の特性**：東京・埼玉・神奈川・千葉の1都3県で全体の約60%を占める。都心からのアクセスの良さが最大のアドバンテージ。
- ・ **属性分析**：層別では、SNSでの発信力が高い20代女性、および40代男性の割合が高いのが特徴。
- ・ **前後周遊スポット**：鬼怒川温泉とのセット周遊が約4.7万人で最多。日光エリアを拠点とし、鬼怒川で宿泊、または奥日光へ足を伸ばす「V字型」あるいは「縦断型」ルートが鮮明。

3 奥日光エリア (華厳滝観瀑台・明智平ロープウェイ展望台・戦場ヶ原展望台・中禅寺湖展望台・湯元温泉)

主要指標サマリー

入込数
76,691
前年比 126.6%

日帰り客
49,763
前年比 122.3%

宿泊客
26,928
前年比 135.5%

平日・休日／曜日別来訪者数

曜日タイプ	来訪者数	1日あたり来訪者数
平日	34,826	1,658.4
土曜日	18,560	4,640.0
日祝日	23,307	3,884.5
合計	76,693	2,474.0

前後周遊スポット

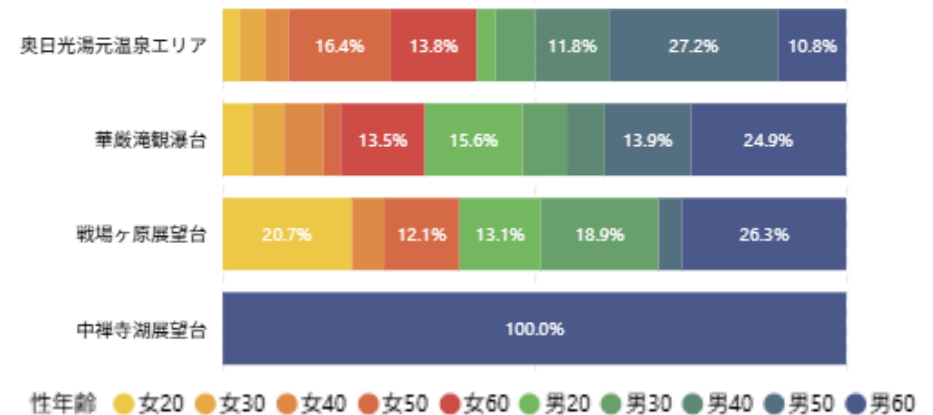
周遊先スポット	直前の周遊	直後の周遊	合計
二社一寺近辺 (宿泊)	11,765	7,653	19,418
鬼怒川温泉エリア	3,591	4,269	7,860
日光東照宮	2,230	2,938	5,168
道の駅日光日光街道ニコニコ本陣	787	3,130	3,917
日光山輪王寺	1,282	495	1,777

3 奥日光エリア (華厳滝観瀑台・明智平ロープウェイ展望台・戦場ヶ原展望台・中禅寺湖展望台・湯元温泉)

発地ランキング

発地	来訪者数	シェア
神奈川県	11,992	15.64%
東京都	11,592	15.11%
埼玉県	10,001	13.04%
栃木県	9,827	12.81%
千葉県	7,700	10.04%

属性別構成



分析レポート

・全体概要

宿泊客の伸び率が前年同期比135.5% (+35.5%) に達し、日帰り客 (122.3%) の伸びを大きく上回った。奥日光が単なる「通過点」ではなく、滞在を前提とした明確な「目的地 (ディステイネーション)」として選ばれていることが鮮明となっている。

・前後周遊スポット

直前・直後の周遊スポットにおいて「二社一寺近辺 (宿泊)」が19,418人と突出。世界遺産エリアと奥日光を組み合わせた「連泊」や、エリアを跨いだ「質の高い宿泊体験」をセットで享受する広域周遊ルートが確立されている。

・属性分析

幅広い層が長時間滞在する傾向にあるが、特に女性20代 (20.7%) と男性50代 (26.3%) が中心。若年女性の撮影・散策需要と、ミドル層の自然享受需要が共存している。

4

鬼怒川・川治エリア (日光江戸村・東武ワールドスクウェア・龍王峡駅・鬼怒川温泉・川治温泉)

主要指標サマリー

入込数
483,297
前年比 104.4%

日帰り客
282,742
前年比 107.8%

宿泊客
200,555
前年比 99.9%

平日・休日／曜日別来訪者数

曜日タイプ	来訪者数	1日あたり来訪者数
平日	276,049	13,145.2
土曜日	87,685	21,921.3
日祝日	119,549	19,924.8
合計	483,283	15,589.8

前後周遊スポット

周遊先スポット	直前の周遊	直後の周遊	合計
二社一寺近辺 (宿泊)	18,370	14,225	32,595
道の駅日光日光街道ニコニコ本陣	7,481	10,474	17,955
日光東照宮	5,481	7,583	13,064
湯西川温泉エリア	4,557	4,261	8,818
華厳滝観瀑台	3,901	3,815	7,716

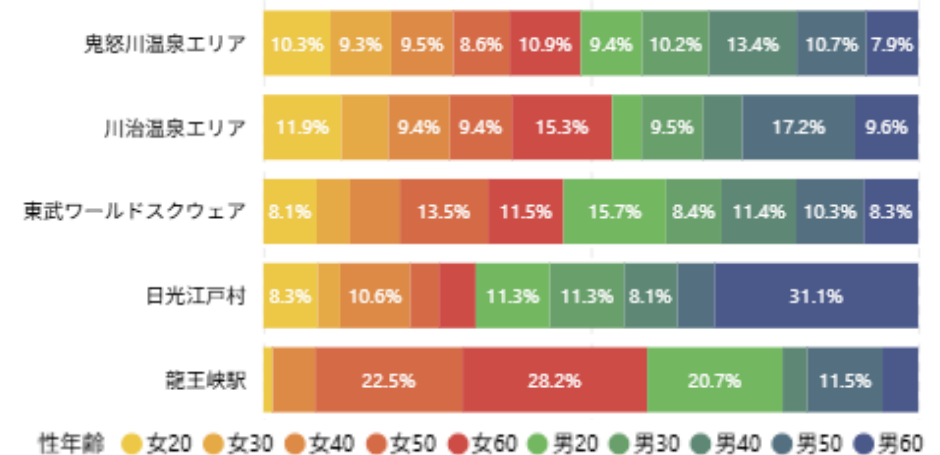
4

鬼怒川・川治エリア (日光江戸村・東武ワールドスクウェア・龍王峡駅・鬼怒川温泉・川治温泉)

発地ランキング

発地	来訪者数	シェア
東京都	92,589	19.16%
埼玉県	85,680	17.73%
栃木県	57,929	11.99%
神奈川県	55,287	11.44%
千葉県	52,163	10.79%

属性別構成



分析レポート

・全体概要

日光市全体の入込数の約45%を占める最大エリア。日帰り客（前年比107.8%）と好調な一方、宿泊客が前年比-1%と微減、滞在型観光への転換に課題が残る月だった。

・発地分析

他エリアと比較し、埼玉県と千葉県からの来訪シェアが高いのが特徴。これは東武鉄道等によるアクセスの良さに加え、「家族向けテーマパーク」の集客力が発地特性と直結していると推測する。

・属性分析

30代～40代の男女がボリュームゾーン。ファミリー層からの支持が中心。また、日帰りで複数のレジャー施設を回遊する傾向がある。

5

湯西川・川俣・奥鬼怒エリア（湯西川温泉）

主要指標サマリー

入込数
40,622
前年比 81.2%

日帰り客
23,845
前年比 78.9%

宿泊客
16,777
前年比 84.7%

平日・休日／曜日別来訪者数

曜日タイプ	来訪者数	1日あたり来訪者数
平日	20,233	963.5
土曜日	8,743	2,185.8
日祝日	11,637	1,939.5
合計	40,613	1,310.1

前後周遊スポット

周遊先スポット	直前の周遊	直後の周遊	合計
鬼怒川温泉エリア	2,687	2,368	5,055
川治温泉エリア	650	1,009	1,659
二社一寺近辺（宿泊）	670	684	1,354
道の駅日光日光街道ニコニコ本陣	345	983	1,328
龍王峡駅	626	624	1,250

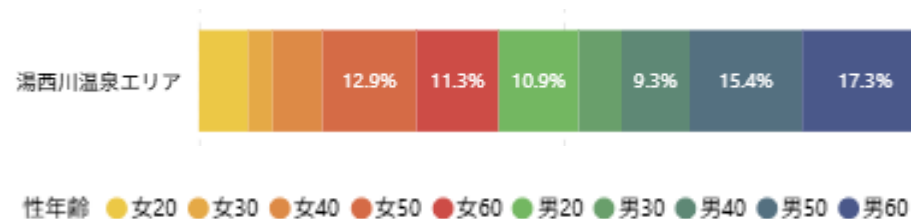
5

湯西川・川俣・奥鬼怒エリア（湯西川温泉）

発地ランキング

発地	来訪者数	シェア
東京都	8,179	23.86%
埼玉県	7,603	22.18%
千葉県	5,181	15.11%
神奈川県	4,469	13.04%
茨城県	3,154	9.20%

属性別構成



分析レポート

・全体概要

入込数は前年比81.2%と大きく減少。特に日帰り客（前年比78.9%）の落ち込みが大きく、エリア全体の集客力に課題が見られる。宿泊客（前年比84.7%）は日帰りに比べると減少幅が抑えられており、温泉地としての宿泊需要に支えられている。

・発地分析

発地別では、シェア1位の東京（23.9%）・埼玉（22.2%）を中心に、1都4県で全体の約80%を占める。来訪者の大半が首都圏および近隣県に依存していることがわかる。

・周遊動態分析

鬼怒川温泉エリアとの周遊が約5,000人で最多。次いで川治温泉エリアが約1,659人となり、隣接する温泉地との連携が主な動線となっている。日光中心部（二社一寺近辺）との周遊は約1,300人程度に留まっており、市街地からの誘客・回遊性の向上が課題。

6

今市エリア（大笹牧場・日光だいや川公園・道の駅日光街道ニコニコ本陣）

主要指標サマリー

入込数
67,313
前年比 108.5%

日帰り客
54,074
前年比 107.3%

宿泊客
13,239
前年比 114.0%

平日・休日／曜日別来訪者数

曜日タイプ	来訪者数	1日あたり来訪者数
平日	31,669	1,508.0
土曜日	14,089	3,522.3
日祝日	21,566	3,594.3
合計	67,324	2,171.7

前後周遊スポット

周遊先スポット	直前の周遊	直後の周遊	合計
鬼怒川温泉エリア	8,969	6,796	15,765
二社一寺近辺（宿泊）	7,119	2,254	9,373
日光東照宮	2,153	531	2,684
奥日光湯元温泉エリア	1,980	451	2,431
華厳滝観瀑台	1,607	408	2,015

6 今市エリア（大笹牧場・日光だいや川公園・道の駅日光日光街道ニコニコ本陣）

発地ランキング

発地	来訪者数	シェア
埼玉県	12,095	23.99%
東京都	9,885	19.61%
千葉県	6,090	12.08%
神奈川県	5,311	10.54%
茨城県	5,204	10.32%

分析レポート

・全体概要

入込数は67,313人（前年比108.5%）と堅調に推移。特筆すべきは宿泊客の伸びで、前年比114.0%と日帰り客（前年比107.3%）を上回る成長を記録した。従来の「立ち寄りエリア」から、宿泊を伴う「滞在型観光」へのシフトが進んでいる。

・発地分析

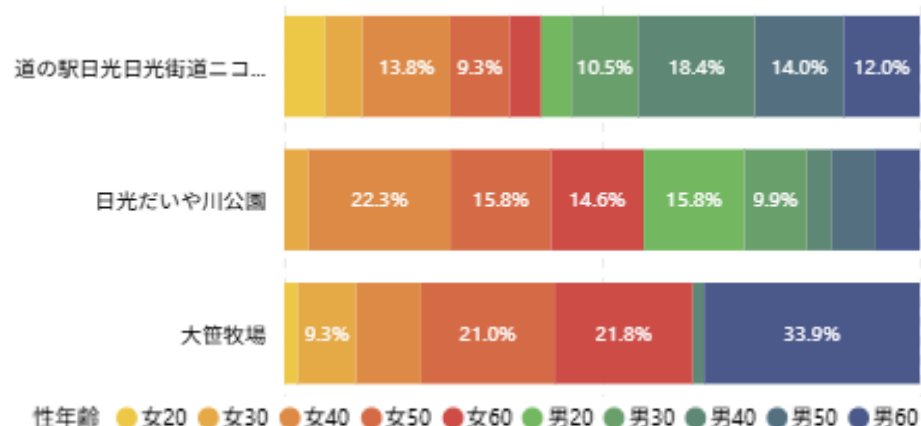
発地別では、シェア1位の埼玉（24.0%）・東京（19.6%）を中心に、1都4県で全体の約77%を占める。来訪者の大半が首都圏および近隣県に依存していることがわかる。

・前後周遊スポット分析

鬼怒川温泉エリアとの周遊者数15,765人が最も多く、鬼怒川観光の前後（特に宿泊後）に今市エリアに立ち寄る行動パターンが多い。二社一寺周辺（宿泊含む）との周遊も9,373人に達し、日光と鬼怒川という二大拠点を結ぶ「ゲートウェイ」として、重要な役割を果たしている。

資料：「おでかけウォッチャー」を基に作成。

属性別構成





【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

- 本資料は、一般社団法人日光市観光協会の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当協会までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます、予めご了承ください。
- 本資料は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまの判断で利用してください。



一般社団法人日光市観光協会

(本部)

〒321-1261 栃木県日光市今市717-1
道の駅日光 日光街道二コニコ本陣 観光情報館
電話：0288-22-1525 (代表)

2

日光エリア（日光東照宮・日光山輪王寺・日光二荒山神社）

今後の展望

① 滞在型プレミアム化

宿泊客の大幅増（+20.3%）を維持するため、夜間拝観や限定ガイドツアーなど、宿泊者のみが享受できる「特別感」の創出を強化する。

② デジタル分散誘導

土曜日の混雑をリアルタイムで可視化し、平日・日曜への分散来訪を促すダイナミックな体験予約システムやクーポンの導入を検討する。

③ 若年女性への体験訴求

SNSの影響力が高い20-30代女性に対し、単なる撮影スポット提供に留まらない「自己研鑽」や「リトリート」を感じさせるワークショップを展開する。

④ 周遊ルートの収益化

日光と鬼怒川温泉の高いセット率を活かし、広域周遊パスのデジタル化と、加盟店での特典付与による消費単価向上を目指す。

3 奥日光エリア（華嚴滝観瀑台・明智平ロープウェイ展望台・戦場ヶ原展望台・中禅寺湖展望台・湯元温泉）

今後の展望

① 宿泊客の「連泊」促進

宿泊増（+35%）を一時的なブームに終わらせないよう、戦場ヶ原の早朝トレッキングや中禅寺湖の星空観賞など、宿泊しないと体験できないコンテンツを拡充。

② 神奈川・東京層へのターゲティング

シェア上位の地域に対し、「奥日光の静寂」や「泉質の良さ」を強調したデジタル広告を強化。高単価プランの販売を推進。

鬼怒川・川治エリア (日光江戸村・東武ワールドスクウェア・龍王峡駅・鬼怒川温泉・川治温泉)

今後の展望

① 「夜の鬼怒川」コンテンツの創出

宿泊客減少の要因は「夜の楽しみ」の不足です。温泉街を活かした夜の魅力あるコンテンツを造成し、宿泊の動機付けを創出します。

② 平日ビジネス・ワーケーション需要

土日集中（平日の約2倍）を緩和するため、都心企業のワーケーション利用や、平日の連泊割引を強化し、稼働率の平準化を目指します。